

4 地球環境関係データ

■概 要

(1) 大阪府域における温室効果ガス排出量の推移

府域における2021（令和3）年度の温室効果ガス排出量は4,258万トン（CO₂換算）です。前年度と比べると2.7%減少しており、その主な要因としては、電気の排出係数の減少が挙げられます。また、2021年度の二酸化炭素排出量は3,807万トンであり、前年度と比べ3.3%増加しています。

※ 電気の排出係数とは、使用電力量 1 kWh当たりの二酸化炭素排出量を表す係数

(2) 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移

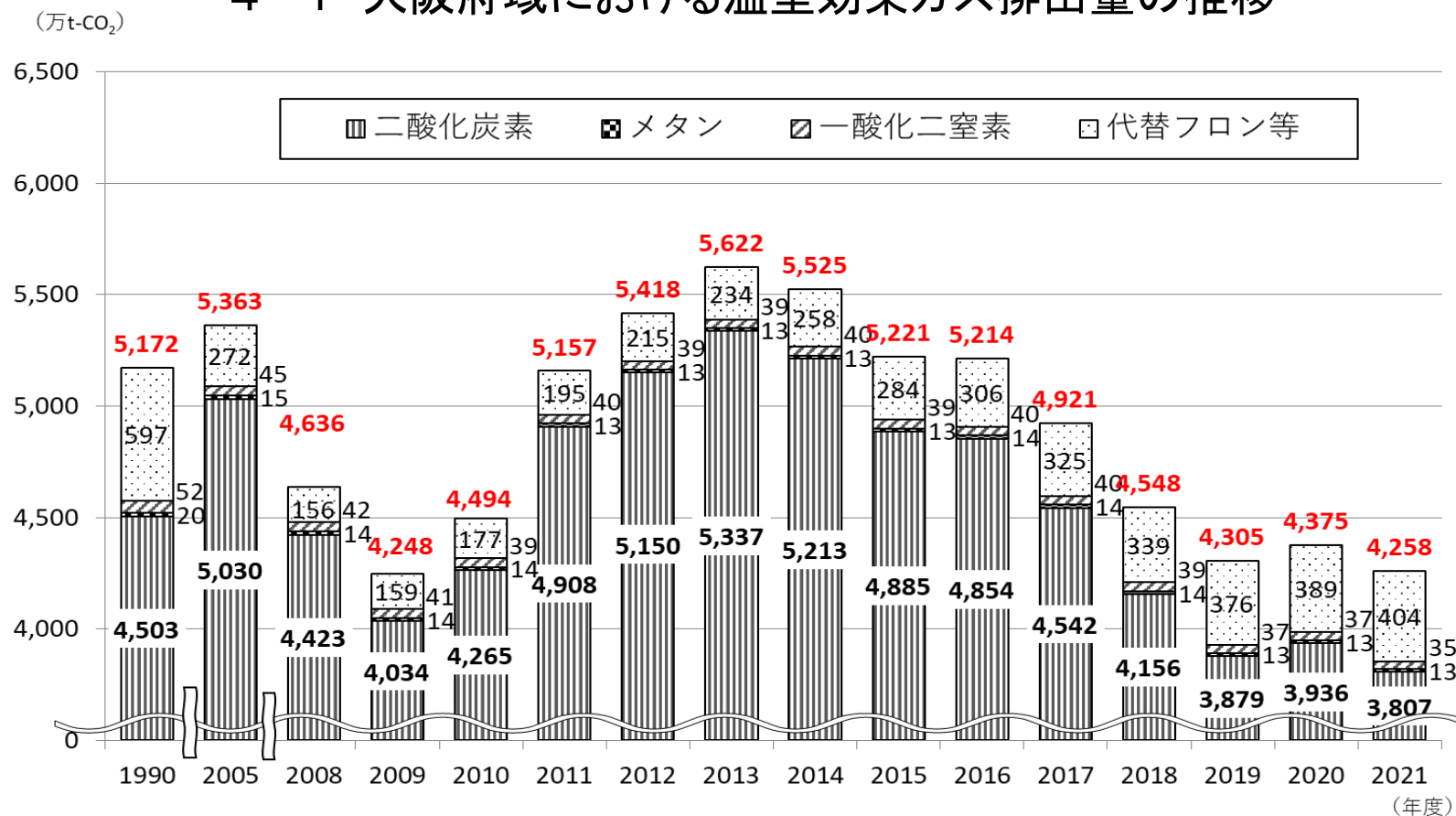
2021（令和3）年度のエネルギー消費量は506PJ（ペタジュール）※であり、前年度と比べ1.6%増加しています。

※ J（ジュール）はエネルギーの単位。PJ（ペタジュール）は 10^{15} Jを表す。

(3) 再生可能エネルギー等の導入実績

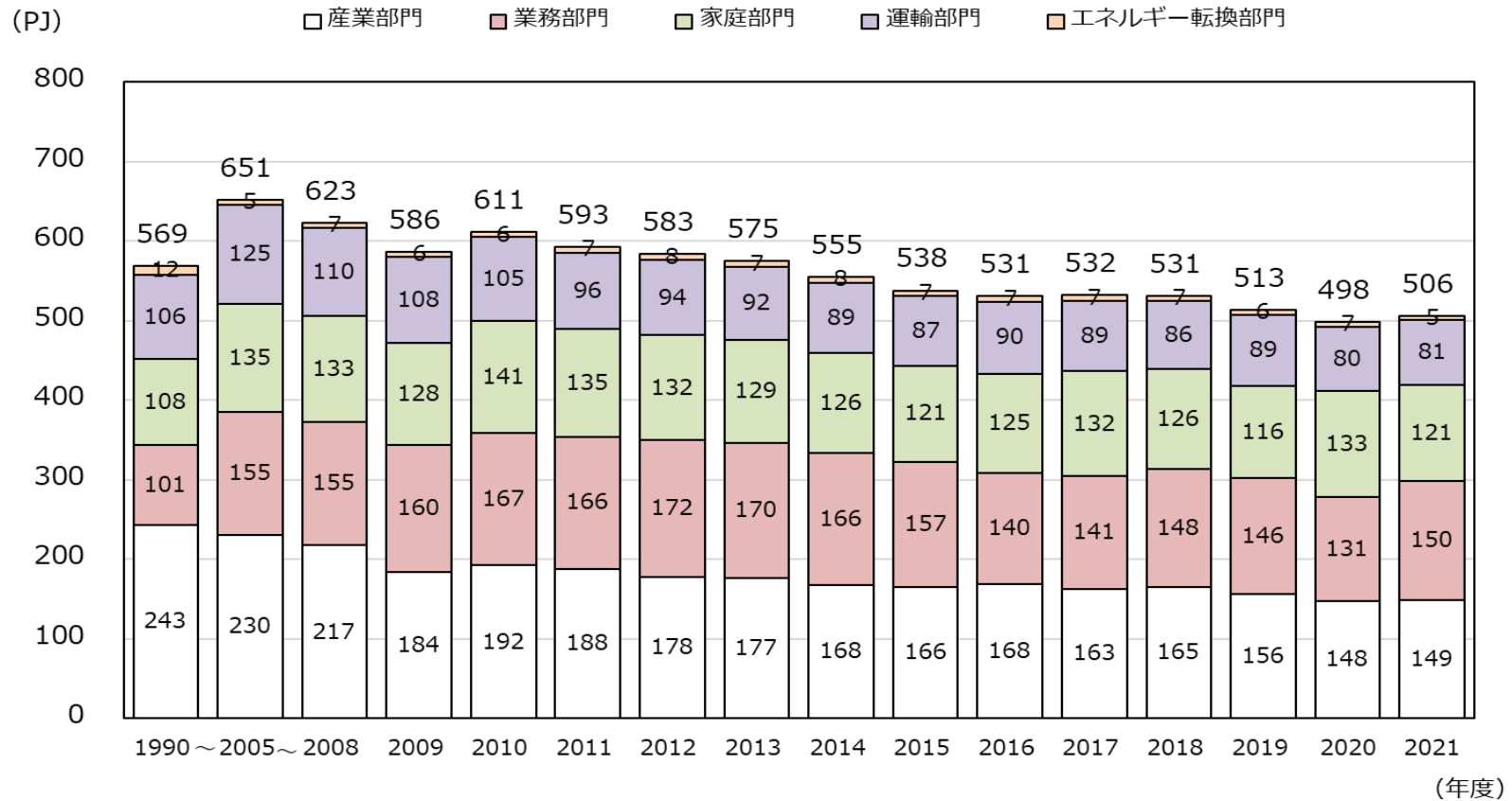
府における再生可能エネルギー等の導入実績（2023（令和5）年度末時点）は、太陽光発電が124.2 万kWであり、前年度と比べ、5.3 万kW増加しています。また、コージェネレーション等の分散型電源が 54.6 万kW、廃棄物発電等が 27.7 万kW、などとなっています。

4-1 大阪府域における温室効果ガス排出量の推移



- (注) 1. 電気の排出係数は、2005～2007年度は一般電気事業者等（現行制度における小売電気事業者）に対して大阪府が行った調査等により、府内基礎排出係数を推計し、2008年度以降は同様の調査等による府内調整後排出係数を推計し、算定に用いた。
2. 四捨五入の関係で、各値の合計と合計値が一致しないものがある。

4-2 大阪府域におけるエネルギー消費量の推移



※PJ(ペタジュール):エネルギー量の単位で、千兆(10の15乗)J(ジュール)のこと
 なお、1 J(ジュール)≒0.239 カロリーとなる。
 例えば、0℃も水1リットルを100℃まで沸騰させるには、
 418 kJ(キロジュール)=418,000 J(ジュール)が必要となる。

4-3 府内の再生可能エネルギー等の導入実績

2023(令和5)年度末現在

種 類	府内の導入実績
太陽光発電	124.2 万kW (住宅用:59.9 万kW、非住宅用:64.3 万kW)
分散型電源(コージェネレーション等)	54.6 万kW (家庭用:5.9 万kW、事業用:48.7 万kW)
廃棄物発電等	27.7 万kW (うち、一般廃棄物による廃棄物発電:27施設 24.5 万kW)